

今回、陽性反応（基準値を超過している）があった方は、以下に記した陽性反応に該当する解説項目をお読みになり、当院または主治医とご相談されることをお勧めいたします。

また、今回陰性（基準値範囲内）であった方も、「腫瘍マーカー」検査はあくまでも補助的検査ですので、関連する検査結果と合わせて総合的に判断する必要があります。

（注）腫瘍マーカーはがん以外に良性の腫瘍や体質などでも上昇する場合があります。陽性の方は、診断のために一度精密検査をお受けください。

CEA 陽性の方へ

大腸がん・肺がん・胃がん・乳がんなどでしばしば高値になります。ただし、胃炎などの慢性的炎症・肝硬変・喫煙によっても高値になる場合がありますので、基準値を超えた方は内科医にご相談ください。

CA19-9 陽性の方へ

膵臓がん・胆管がんをはじめとする消化器がんが高い陽性をしめすとともに、卵巣がんでも上昇します。その他、胆石症・慢性膵炎・子宮筋腫などでも上昇します。

なお、膵臓がんは腫瘍マーカーや腹部超音波のみでは診断の難しいがんです。MRCP 検査や腹部の造影 CT 検査をお勧めします。

CYFRA 陽性の方へ

小細胞がん以外の肺がんでも上昇します。特に肺がんの約 30% を占め、喫煙家に多い扁平上皮がんでは比較的早い内から高値を示します。卵巣がん、乳がんでも高値になることがあります。肺がんは胸部 X 線検査だけでは診断できない場合が多いので、胸部 CT 検査で確認が必要です。

ProGRP 陽性の方へ

肺がんの中で約 20% を占める小細胞がんでも高値になります。小細胞がんは悪性度が高く、急速に増大し、また転移しやすいため発見時にすでに進行していることが多いがんです。比較的早期でも陽性となることがあります。

AFP（アルファフェトプロテイン）陽性の方へ

肝臓がん・生殖器の腫瘍（卵巣や精巣の悪性腫瘍）で高値を示す傾向があります。慢性肝炎・肝硬変と指摘・罹患されている方は特に注意が必要です。妊娠中は陽性になる場合があります。

PSA 陽性の方へ

前立腺がんで高頻度に上昇します。前立腺肥大症・前立腺炎でも軽度上昇することがあります。

陽性の方は泌尿器科専門医をご受診ください。

AGA 治療薬のフィナステリド、デュタステリド（商品名プロペシア、ザガーロ）内服中の方は、値が実際より低めに出る可能性がありますので、結果の見方については主治医にご相談ください。

CA125 陽性の方へ

卵巣がんで上昇する傾向があります。子宮内膜症・子宮筋腫・良性卵巣腫瘍、生理中・妊娠中で高値になる場合もありますので、陽性の方は産婦人科医にご相談ください。

PIVKA- II（ピブカツー） 陽性の方へ

肝細胞がんで高値を示すことがあります。肝硬変での陽性率が低いので、肝がんとの鑑別診断に有用です。ビタミン K 欠乏症の方、またはビタミン K を低下させるワーファリンなどの薬を内服中の方は上昇することがあります。

エラスターゼ I 陽性の方へ

急性膵炎・慢性膵炎・膵がんなどの膵疾患で上昇するだけではなく、胃がん・原発性肝がん・胆管がん・肺がんなどの悪性腫瘍、さらにアルコール性肝障害・肝硬変でも上昇します。

エラスターゼ I が高値を示した方は、消化器科をご受診ください。

